

理工学部 NEWS

第1号 (2017.3)

発行者：理工学部支援室

<http://www.hino.meisei-u.ac.jp/sae/>



建築学系の学生が第44回土木学会関東支部技術研究発表会で研究発表をしました

3月7日(火)、埼玉大学(埼玉県さいたま市)で開催された「第44回土木学会関東支部技術研究発表会」で、建築学系・藤村和正研究室の4年、仲田光喜さん、増田翔吾さんの2名が研究発表を行いました。洪水時のダム操作や河川整備計画などで洪水流量を算定する際の貯留関数式の精度向上のため、貯留関数パラメータの特性解明や、地球温暖化した場合の洪水濁水リスクの低減に向けた研究として、全球気候モデル(GCM)の出力値を用いた将来流出変化のシミュレーションを早明浦ダム流域で行うなど、卒業研究で取り組んだ課題を発表し、会場より活発な質疑がなされました。

写真

左：仲田光喜さん 発表テーマ「岩尾内ダム流域における貯留関数パラメータの一般化に関する検討」

右：増田翔吾さん 発表テーマ「早明浦ダム流域における将来流出の月平均値と年水収支量に関する考察」



建築学系「プロジェクトVI」で群馬県内の建築物を見学しました

3月7日(火)、村上晶子研究室の学生8名(3年生4名、4年生4名)は群馬県高崎市内の建築物と富岡製糸場を見学しました。建築家アントニン・レーモンドが設計した建築物や、明治時代から日本の産業に大きな影響を与えた建築物に歴史の重みを感じ、3年生は次年度の卒業研究、4年生は卒業後の進路に向けて、建築への理解を深めるきっかけとなりました。



機械工学系で新日鉄住友金属株式会社君津製鉄所を見学しました

1月13日（金）、機械工学系の学生66名（4年生3名、1年生63名）が新日鉄住友金属株式会社君津製鉄所（千葉県君津市）を見学しました。

1年生の必修科目「理工実験実習Ⅱ」の一環として行われたこの見学会は、これから専門的に学ぶ機械工学への関心を高めることが目的です。

世界最大級の第四高炉の外観や熱延工程の見学を通して、鉄が板材になる工程を体験的に学び、機械工学の基礎となる機械材料の見地を深めることができました。

環境・生態学系4年生の研究成果が「相模経済新聞」に掲載されました

環境・生態学系4年 渡邊陽香さん（岩見徳雄研究室）のトンボの生態に関する研究成果が「相模経済新聞」[2017年1月10日（火）付]に掲載されました。渡邊さんは、稲作などの人為的な環境変化がトンボの生態系にもたらす影響について研究しており、本記事には日本昆虫学会で発表している様子と今後の研究についてのコメントが掲載されました。

「第8回大学コンソーシアム八王子 学生発表会」で優秀賞と特別賞を受賞しました

2016年12月3日（土）、4日（日）に八王子東急スクエアビル学園都市センターで開催された「第8回大学コンソーシアム八王子 学生発表会」で、理工学部学生（4年生12名）が研究発表を行いました。この発表会で電気電子工学系4年 府川竜太さん（嶋 好博研究室）が優秀賞を、環境・生態学系4年 具志堅 遥さん（赤間美文研究室）が特別賞を受賞しました。



発表中の府川竜太さん

【電気電子工学系】

○嶋 好博研究室（視覚映像情報研究室）

府川竜太さん（優秀賞受賞）

「暗闇の不審者検出のための Depth 画像を用いた人物頭部検出」

【環境・生態学系】

○赤間美文研究室（環境化学分析研究室）

具志堅 遥さん（特別賞受賞）

「合成高分子樹脂にキレート試薬 PAN を担持した吸着材の調製と各種金属の吸着」

電気電子工学系 小寺准教授がカナダ・カールトン大学でセミナーを開催しました

2月22日（水）、電気電子工学系 小寺敏郎准教授がカナダのカールトン大学（オンタリオ州オタワ）で学内の研究者・教員・学生対象にセミナーを開催しました。

このセミナーは定期的で開催されており、講演者には大学や産業界で活動する最先端の研究者が招かれています。

セミナーのテーマ

Creation of Electromagnetic Gyrotropic Property by Combination of Circuit Component

（回路素子で作り出す人工ジャイロ磁気特性）

